

ユーモア交え

地獄絵を紹介

幸田で愛教大教授

地獄の世界をユーモアを交えて紹介する講演会が九日、幸田町菱池の町公民館であった。

県と同町が開く生涯学習講座。町内の百十人が、「地獄絵」の研究をしている愛知教育大の鷹巣純教授(五七)美術史Ⅱの話に耳を傾けた。

地獄の楽しみ 講座 地獄絵 幸田町菱池の町公民館



地獄での様子を説明する鷹巣教授＝幸田町菱池の町公民館で

鷹巣教授は、地獄の仕組みを図で説明。舌を抜いたり、葉っぱが刃物になっている木を

登らされたりといった地獄での刑罰を紹介した。絵巻や古文書を示して「地獄では、舌を抜かれても、また生えてきて、何度も抜かれてしまいます」などと話すと、思わず顔をしかめる来場者もいた。

話を聞いた同町深溝の大葉陽子さん(七〇)は「地獄が、お盆の行事などにも関わっている」と分かって面白かった」と話した。